


令和5年7月31日提出

「愛する小野に地域貢献を！」地区生徒会による地域貢献活動

標記について、次のとおりお知らせします。連絡：小野中学校教諭 堤 淳一（090-8402-4870）

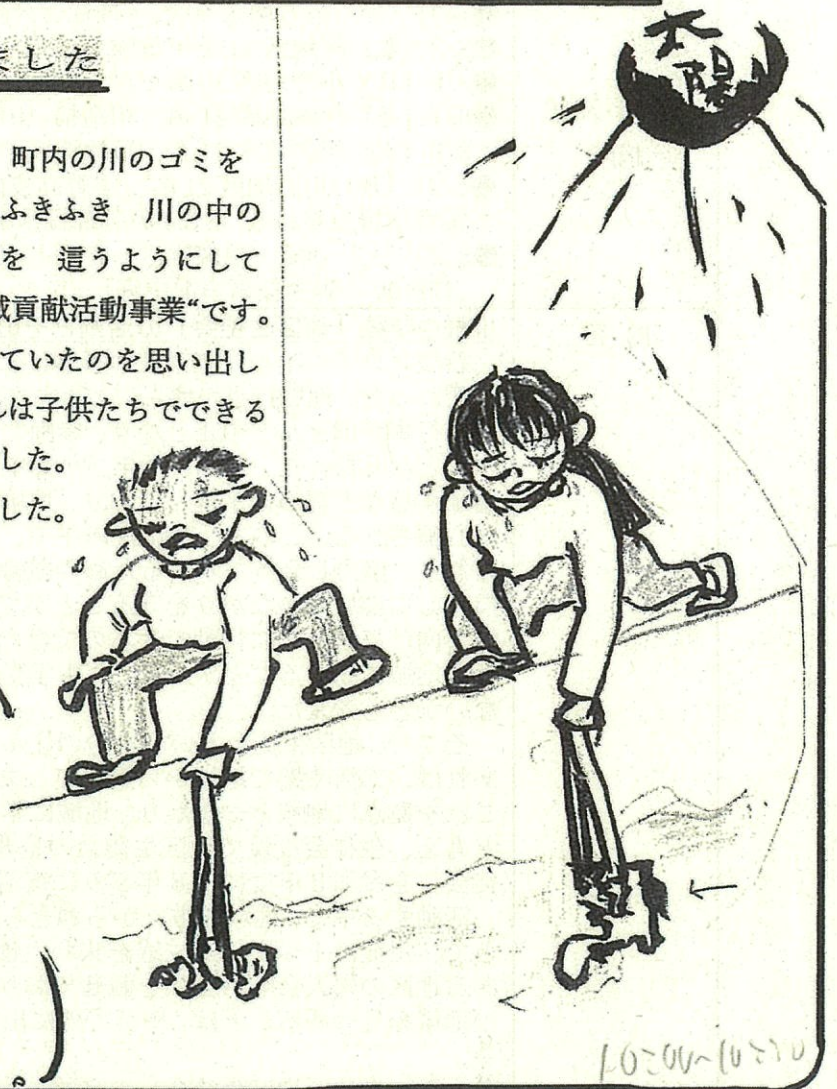
<p>日時及び 場所</p>	<p>※期日 地区 人数 活動場所（集合時刻場所）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●7/31（月）宗方地区 20名：神社と公園の清掃（8時宗方公園、宗方神社） ●8/2（水）曙地区 11名：危険箇所等ポスター作成の為に巡回（7:30 消防小屋） ●8/6（日）小野地区 26名：市民大清掃参加（7:00 小野神社、小野公民館） ●8/7（月）川内地区 21名：川清掃（9:50 川内公民館） ●8/9（水）川内地区 21名：危険箇所のチェックとマップ書込（14:00 川内公民館） ●8/21（月）川内地区 21名：小野高波碑公園と水害記念碑周辺の清掃※地域災害学習を兼ねる（8:30 天狗鼻揚水場前） ●8/29（火）赤崎・黒崎地区：定植したプランターの小野ふれあい会館への設置（12:00 小野中技術室前中庭）
<p>内容</p>	<p>小野中学校「地区生徒会」の活動とその目的</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、学校を取り巻く地域の状況は大きく変わった。地域行事が盛んに行われていた小野地域では、コロナ禍になって地域行事がほとんど中止となり、参画していた中学生が地域と関わることもほとんどなくなった。また、近年、小野中学校区は新しいアパートや商業施設が増加するなど都市化が進んでおり、地域とのつながりが急速に薄れていくことが心配される。このような状況の中で、自分たちが暮らす地域について話し合ったり、協力し合ったりするための組織や仕組みがあれば、中学生が地域の一員として地域のつながりを守ることができると考えた。また、主体的に課題解決に向けて具体的に行動できるのではないかとの思いがあった。さらに、保護者や地域に届けられることができる、中学生の姿が見えるボランティア活動はできないかとも考えた。</p> <p>そこで、地区生徒会という自分の住んでいる地域の中学生ごとのまとまりがあれば、部活や塾で地域から離れてしまう地域での活動の基盤が確保できる。これを拠点に地域とつながり、地域に学び貢献することができるのではないかと考え、生徒会役員で地区生徒会の是非について検討を重ねた結果、「地区生徒会」を令和3年度に18年ぶりに復活させることが決まった。</p> <p>活動する中で、地域の方々からねぎらいや応援の言葉をかけていただいたことで、生徒は1つ1つ達成感を味わい自己肯定感が育まれた。詳細資料には、ある地区の婦人会町内会報を載せており、活動に対するねぎらい同時に「自分の地域を見つめることは、やがて外に出たとき、思い出しますよ。」と綴っている。</p> <p>●小野中学校「地区生徒会」の目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各地区の中学生同士がつながり、地域のために協力して行く場とする。 ○地域の魅力や課題について考えて、地域への関心を高め、地域理解を深める。 ○自分たちを育ててくれた地域にボランティア活動等をとおして地域貢献することで、小野中学校区が楽しく豊かな地域として持続する。
<p>問い合わせ先</p>	<p>諫早市立小野中学校 担当:堤 淳一 電話番号:0957-22-0594(小野中学校) 090-8402-4870(堤 携帯) E-mail:jh-ono@isahaya-snet.ed.jp</p>
<p>担当課</p>	<p>「諫早市教育委員会 学校教育課」</p>
<p>備考 (記事解禁日等)</p>	<p>参考 https://www.youtube.com/watch?v=FCBrDufmlKo&feature=youtu.be</p> <p>「ふるさと『小野』を愛し、誇りに思い、新たな魅力を創出する生徒の育成」</p> 

R4年度実施後の地区の婦人会町内会報

中学生が 頑張っていました

7月31日中学生と父兄さんたちが 町内の川のゴミを拾って回っていました。暑い中汗をふきふき 川の中のビニール袋やペットボトル 缶などを 這うようにして拾っていました。 中学校の“地域貢献活動事業”です。昔も子ども会で 部落の溝掃除をしていたのを思い出しました。50年以上前の事です。あれは子供たちのできる部落の仕事として毎年恒例の行事でした。暑い中 本当にありがとうございました。そして お疲れ様でした。

熱中症 日焼け止め 汗拭き
叫ぶばかり。汗出し作業は
大変だったと思います
子供たちから話し合っ
て決め
は事!! 自分の地域
見つめることは、やがて外に
出たとき、思い出される。
ありがとうございました。



10:00~10:30